

エアコンの内部清掃による火災に注意

意外と知られていない、エアコン清掃の重要ポイント！



※この映像は、注意喚起を目的に作成した実験映像です。この製品は、実際の事故とは関係ありません。

エアコン「内部に洗浄液がかかりトラッキング現象で発火」動画

画像提供【独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）】

近年の夏は、35℃以上の猛暑日が続くこともあり、暑い夏のイメージがあります。暑さをしのぐ方法として、エアコンは最もポピュラーではないでしょうか。

エアコンは、主に屋外に置かれた室外機と、空気を出す室内機に分けられます。室内機には、熱交換器と言われる「フィン」があり、この部分で冷やされた空気が送風されます。この熱交換器がほこり等で汚れると、熱をうまく伝えることができなくなるため、エアコンが効かなくなります。

新型コロナウイルスの影響で、身の回りの物を清潔に保とうとする機運が高まり、エアコンの内部清掃を自ら行い、内部の配線端子部分に洗浄液が付着し、端子部でトラッキング現

象が発生する火災事故が考えられます。

取扱説明書には、「誤った洗浄剤の選定、使用方法で内部洗浄を行うと、発煙、発火する恐れがある。」旨、記載されています。エアコンを清掃する際には、下記の注意事項に留意してください。



画像提供【独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)】

エアコンの内部清掃の注意事項

- ☞ エアコンの内部清掃は正しい知識を持った業者に依頼するか、購入先である販売店、メーカーのサービス窓口などに相談してください。
- ☞ エアコン内部の清掃を行う際は、注意書きをよく読み、絶対に電気部品に洗浄液がかからないよう注意してください。
- ☞ 発火・破損の恐れがあるため、手指消毒用エタノールなどの可燃性の溶液や次亜塩素酸ナトリウムなど腐食性のある溶液で内部を清掃することはやめましょう。